取扱説明書

品質保証書付き

OMRON

5329877-4D

オムロン 音声付電子体温計
MC-174V わき・口中

医療機器認証番号：222AGBZX00273000

けんおんくん

実測式

■このたびは、オムロン商品をお買い上げいただきましてありがとうございました。

■安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

■本書は、いつもお手元においてご使用ください。

■本書は品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。

All for Healthcare

次のものが入っていますか？

1. 本体　2. 収納ケース　3. お試し用電池（リチウム電池 CR2032×1 個）※お買い求めのときは本体に内蔵されています。
4. 取扱説明書（本書：医療機器添付文書・品質保証書付き）※品質保証書は裏面についています。紛失しないようにしてください。
5. EMC 技術資料

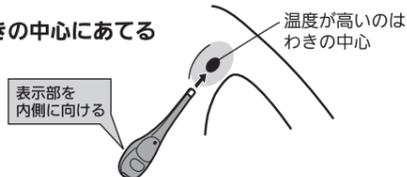
体温計の正しいあてかた

体温計を正しくあてて測らないと、精度の高い検温値が得られない場合があります。

わきで測る場合

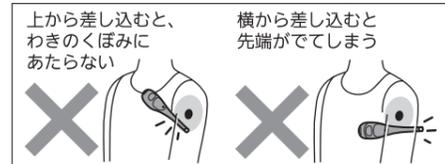
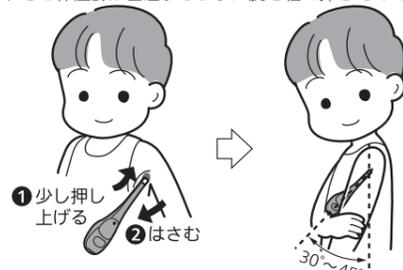
• **わきの中心にあてる**

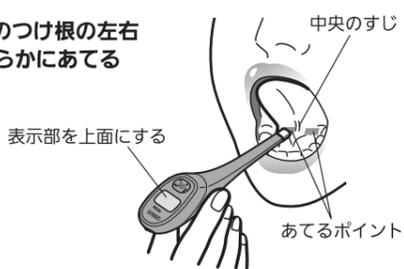
温度が高いのはわきの中心

表示部を内側に向ける

• **下から少し押し上げるようにして、わきをしっかりしめる**

わきと体温計が密着するように腕を軽く押さえてください。

上から差し込むと、わきのくぼみにあたらない

横から差し込むと先端がでてしまう

口の中で測る場合

• **舌下のつけ根の左右どちらかにあてる**

• **舌で体温計を密着させて口を閉じる**

• **体温計がずれないように手で支える**

• **検温中は口を開かない**

口で呼吸しない

こんなときは正しく測れません

●運動や入浴、飲食の直後

30 分以上時間をあけましょう。

●長時間布団の中にいたりして、わきの下が汗ばんでいるとき

わきから汗をきれいにふき取りましょう。

●起床後すぐに動き出したとき

起床後、動く前に測るか、動き出してから 30 分以上時間をあけましょう。

※起床直後に動き出したときは、体温が高くなり、変動が大きくなっています。

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

●ここに示した内容は、商品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
●表示と意味は次のようになっています。

■警告、注意について

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害*の発生が想定される内容を示します。

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

■図記号の例

●記号は強制（必ず守ること）を示します。（左図は“必ず守る”）

⦸記号は禁止（してはいけないこと）を示します。（左図は“禁止”）

⚠警告

検温結果の自己診断や治療は危険です。医師の指導に従ってください。
自己診断は、病気が悪化する原因になります。

乳幼児の手の届かないところに保管してください。また、お子様だけでのご使用はさけてください。
自分で無理に測ろうとしてけがをする原因になります。

電池やネジ、電池カバーは乳幼児の手の届かないところに置いてください。
乳幼児が電池やネジ、電池カバーを飲み込む恐れがあります。飲み込んだときは、すぐ医師の治療を受けてください。

本商品はわきや口中用の体温計です。それ以外（耳など）で検温しないでください。
正しい検温ができません。耳などを傷つける原因になります。

本体が水などでぬれた状態で測定しないでください。
正しい検温ができません。病気が悪化する原因になります。

人の検温以外には使用しないでください。
けがや故障の原因になります。

電池を加熱したり、火の中に入れたりしないでください。
金属リチウムが溶解して、激しく破裂し、発火します。

⚠注意

電池の ⊕⊖ 極を正しく入れてください。
発熱や液漏れ、破裂などにより本体の破損や、けがの原因になります。

指定の電池を使ってください。
発熱や液漏れ、破裂などにより本体の破損や、けがの原因になります。

本体を噛まないでください。
事故や故障の原因になります。

複数の人で併用しないでください。
病原菌の感染する原因になります。

本体は、防水ではありません。本体内部に、水などが入らないようにしてください。
検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

強い静電気や電磁波のある場所で使用しないでください。
検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

分解や修理、改造をしないでください。
検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

お願い

本体や収納ケースに強いショックを与えたり、落としたり、踏んだり、振動を与えたりしないでください。

体温の測りかた（検温）

1 体温計を収納ケースから取り出し、電源スイッチを押し上げて、電源を入れる

表示部が全点灯

「ピッ」とブザーが鳴り、
「測ってください」と音声案内されます。

■音量調整の方法
音声が大きすぎる、または小さすぎるときは音量を調整してください。3 段階に調整可能です。お買い上げ時は大に設定されています。音量スイッチを押すごとに、「音量大です」→「音量中です」→「音量小です」と切り替わります。

※約 3 分間放置すると「ポン　自動的に電源が切れます」と音声案内され、オートパワーオフ機能によって自動的に電源が切れます。次回使用するときにはいったん電源スイッチを押し下げてから、押し上げて電源を入れてください。

2 体温計をわきにはさむ

（口中で検温するときは、舌下のつけ根にあてます。）

「ポン　測っています」と音声案内されます。

【こんなときは】
外気温（周囲環境温度）が 32℃を超えると感温部が温まり、温度を表示する場合があります。この場合は、感温部をよく絞ったぬれタオルなどで冷やしてから検温してください。

「℃」が点滅すれば準備完了

検温スタート

※「ポン　はさみ直してください」と音声案内されたら「体温計の正しいあてかた」を確認して体温計をはさみ直してください。

温度上昇がほとんどなくなると、
「ピポピポ」とブザーが 3 回鳴り、
「○○度○分です」と音声案内されます。

「℃」が点灯に変わる

■ブザーが鳴ったかどうかわからない場合
音声スイッチを押してください。音声案内で確認できます。
　ブザーが鳴る前：「測っています」
　ブザーが鳴った後：「○○度○分です」

※正しく体温を測るには約 10 分間（口中の場合は約 5 分間）測り続けてください。（詳しくは「検温のしくみ」をご覧ください。）

3 電源スイッチを押し下げて電源を切り、収納ケースに入れる

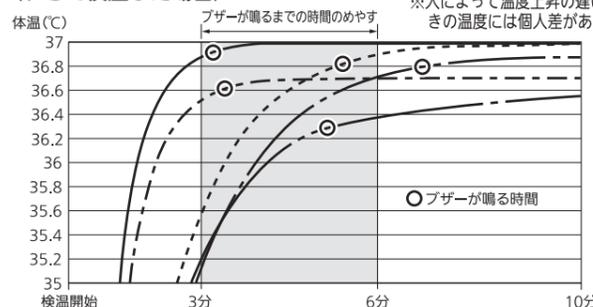
「ピピッ」とブザーが鳴ったあとで、電源が切れます。

※電源を切らずに約 30 分間放置すると「ポン　自動的に電源が切れます」と音声案内され、オートパワーオフ機能によって自動的に電源が切れます。

お願い　電池の消耗を防ぐため、電源を切ってください。
自動的に電源が切れた場合、次回使用するときにはいったん電源スイッチを押し下げてから、押し上げて電源を入れてください。

検温のしくみ

温度上昇がほとんどなくなるとブザーと音声でお知らせします。

〈わきで検温した場合〉

※人によって温度上昇の遅い人と速い人がありますので、ブザーが鳴るまでの時間、そのときの温度には個人差があります。あらかじめわきを閉じて温めておくと上昇が速いです。

体温（℃）　37 / 36.8 / 36.6 / 36.4 / 36.2 / 36 / 35.8 / 35.6 / 35.4 / 35.2 / 35

検温開始　3分　6分　10分

ブザーが鳴るまでの時間のめやす

○ブザーが鳴る時間

一般的に実測式体温計の場合、正しく測るには、わきで約 10 分（口中で約 5 分）の時間が必要です。

温度は測り始めるとともに徐々に上がっていきます。温まって温度変化がなくなるまでに、わきをしっかり閉じて約 10 分（口中では口をしっかり閉じて約 5 分）かかるといわれています。

故障かな？と思ったら…

■電源スイッチを押し上げても「測ってください」と音声案内されない

音声案内	表示	ここを確認する	処置のしかた
何も音声案内されない。	何も表示されない	電池の⊕⊖の向きが間違っていませんか。 電池が消耗している可能性があります。	電池を正しく入れ直してください。 新しい電池（CR2032）と交換してください。
「ピーピーピー測れません」	Er.0 ※数字は 0～4 を表示	本体が故障している可能性があります。	オムロンお客様サービスセンターへお問い合わせください。

■検温中に音声案内された

音声案内	表示	ここを確認する	処置のしかた
「はさみ直してください」	検温中の値	体温計の感温部を正しくあてていますか。	「体温計の正しいあてかた」を確認してください。
「測れませんでした。自動的に電源が切れます」	検温中の値	体温計の感温部を正しくあてていますか。正しくない状態が約 3 分続くと、オートパワーオフ機能によって自動的に電源が切れます。	「体温計の正しいあてかた」を確認してください。 電源を入れ直して検温してください。
「42℃を超えています。測れません」	H	感温部の温度が 42℃を超えています。	感温部を、よく絞ったぬれタオルなどで冷やしてもう一度測り直してください。

■検温値がばらつく

ここを確認する	処置のしかた
体温計の感温部をあてるところが、検温するたびに変わっていませんか。	「体温計の正しいあてかた」を確認してください。

■思ったより検温値が低いと思ったとき

ここを確認する	処置のしかた
体温計を正しくあてていますか。	「体温計の正しいあてかた」を確認してください。
汗をかいていませんか。	汗をふいてから、もう一度測り直してください。
ブザーが鳴るときの温度について	ブザーの鳴る温度は温度上昇のしかたによって変わります。 「検温のしくみ」を確認してください。
予測式体温計で測った場合と比べていませんか。	この体温計は予測式体温計ではなく、実測式体温計です。実測式体温計の場合、ブザーが鳴ったときの温度はほぼ平衡温に達していますが、まだ少し温度上昇します。より正しい体温を測るには、10 分間（口中の場合は 5 分間）測定してください。

■音声スイッチを押しても検温結果が音声案内されない

ここを確認する	処置のしかた
ブザーが鳴るまで測定しましたか。	ブザーが鳴るまで温度上昇しないと、検温結果は音声案内されません。 ブザーが鳴るまで、検温してください。
表示部の「℃」は、点滅ではなく点灯していますか。	

電池の交換のしかた

使用電池：リチウム電池 CR2032（市販品）

電池交換のお知らせ

電源を入れたときに、右図の表示と音声案内があったら、電池を交換してください。

電池交換表示

マーク点灯：音声案内「電池を交換してください」

交換のしかた

1 本体裏面の電池カバーのネジを、小型ドライバーでゆるめる

2 電池カバーを取り外し、細くて折れにくい棒で電池を取り出す

※電池は飛び出すことがありますので、注意してください。

3 電池を（＋を上にして）、図のように入れる

❶＋面が上

❷押さえる

4 電池カバーを元通りに取り付けて、ネジで固定する

元通りに取り付ける

お願い

●お買い求めのときは、本体にお試し用電池が内蔵されています。お試し用電池は、電池寿命の期間内に切れることがありますので、ご了承ください。

●使用済み電池・本体の廃棄方法は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

使い終わったら

体温計は、いつも清潔にお手入れしてください。

●本体の汚れは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

●汚れがひどいときは、水または中性洗剤をしみ込ませた布をかたく絞ってふき取った後、やわらかい布でからぶきしてください。

●アルコールを使って汚れをふき取る場合、表示部にかからないようにしてください。

●下記のことを守ってください。故障の原因になります。
- 汚れを落とすときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
- 本体内部に、水などが入らないように注意してください。
- 体温計の感温部を、アルコールに浸したり、熱湯（50℃を超える湯）で消毒しないでください。
- 超音波洗浄をしないでください。
- 水気が付いたままでケース内に収納しないでください。必ず、乾いた布でふき取ってください。

体温計は、収納ケースに入れて保管してください。

●下記のようなところには保管しないでください。故障の原因になります。
- 水のかかるところ。
- 高温多湿のところ、直射日光があたるところ、暖房器具のそば、ほこりの多いところ、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
- 傾斜、振動、重圧、衝撃のあるところ。
- 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

仕様

項目	内容	項目	内容
医療機器認証番号	222AGBZX00273000	測定精度	±0.1℃（標準室温 23℃にて、恒温水槽で実測測定した場合）
類別	機械器具 16 体温計	測定範囲	32.0～42.0℃
一般的名称	電子体温計	使用環境温湿度	周囲温度：＋10～＋40℃、相対湿度：30～85%RH
医療機器分類	管理医療機器	保管環境温湿度	周囲温度：−20～＋60℃、相対湿度：30～95%RH
販売名	オムロン 音声付電子体温計 MC-174V	本体質量	約 26 g（電池含む）
電源電圧	DC3 V（リチウム電池 CR2032×1 個）	外形寸法	幅 34.9× 長さ 132.5× 厚さ 21.8 mm
消費電力	100 mW	付属品	●収納ケース ●お試し用電池（リチウム電池 CR2032×1 個） ●取扱説明書（医療機器添付文書・品質保証書付き） ●EMC 技術資料
電池寿命	約 350 回（実測：10 分）		
感温部	サーミスタ		
測定方式	実測		
体温表示	3 桁＋℃表示、0.1℃毎		

EMC 適合 本商品は EMC 規格 IEC 60601-1-2：2007 に適合しています。

オムロン健康商品・修理・別売品・消耗品に関するお問い合わせは

オムロンお客様サービスセンター
ダイヤルは正確に 電話 0120-30-6606（むろんオムロン） 通話料無料 FAX 0120-10-1625 通信料無料
受付時間 9:00～19:00 月～金（祝日を除く）
都合によりお休みをいただいたり、受付時間帯を変更させていただくことがありますのでご了承ください。
ホームページ http://www.healthcare.omron.co.jp/
※通信料はお客様ご負担となります。（別売品・消耗品は、インターネットでもお求めいただけます。）

製造販売元 オムロン ヘルスケア株式会社
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で、お買い上げ後 1 年以内に故障した場合には無償修理または交換いたします。
2. 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、オムロンお客様サービスセンターにご連絡ください。
3. 無償保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
   （イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
   （ニ）品質保証書の提示がない場合。
   （ホ）品質保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   （ヘ）消耗部品。
   （ト）故障の原因が本商品以外に起因する場合。
   （チ）その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷。
4. 品質保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
5. 品質保証書は本規定に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 補修用部品は製造打ち切り後、最低 6 年間保有しています。

品質保証書

このたびは、オムロン商品をお買い求めいただきありがとうございました。商品は厳重な検査をおこない高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、一年間は無償修理または交換いたします。
※商品の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。
This warranty is valid only in Japan.

販売名　オムロン 音声付電子体温計 MC-174V
ご芳名
ご住所
TEL　（　　）

※以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印していただいてください。

お買い上げ店名　㊞
住　所
TEL　（　　）
お買い上げ年月日　年　月　日

製造販売元 オムロン ヘルスケア株式会社
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地

＊＊2012 年 1 月 23 日（第 3 版）
＊2011 年 7 月 28 日（第 2 版）
医療機器認証番号：222AGBZX00273000

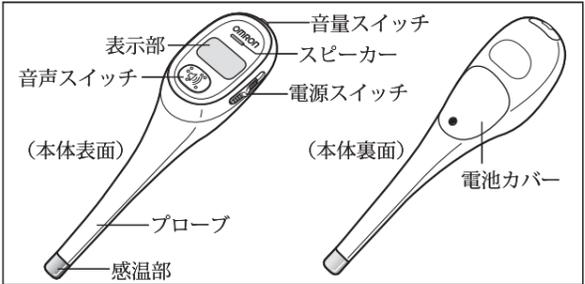
機械器具 16 体温計
管理医療機器 電子体温計 14032010

オムロン 音声付電子体温計 MC-174V

【禁忌・禁止】

（電子体温計を適正にご使用いただくための注意事項です。）
・検温結果の自己診断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。
・人の体温測定以外に使用しないでください。

【形状、構造及び原理等】

1. 主要部の形状と名称

標準付属品
　収納ケース　1 個
　お試し用電池（リチウム電池 CR2032）　1 個
　取扱説明書（医療機器添付文書・品質保証書付き）　1 部
　EMC 技術資料　1 部

2. 本体寸法及び重量
　外形寸法　：34.9（幅）×132.5（長さ）×21.8（厚さ）mm
　質　　量　：約 26 g（電池含む）

3. 電気的定格
　電　　源　：リチウム電池 CR2032（DC3 V）
　電撃保護　：内部電源機器 B 形装着部

4. 作動・動作原理
（1）本機はサーミスタの抵抗値が温度により変化するという特性を応用した電子体温計です。
（2）まず基準抵抗で構成された発振回路により充放電発振をおこない、あらかじめ設定された充放電回数までの時間を求めます。
（3）次にサーミスタで構成された発振回路により充放電発振をおこない、（2）で求めた時間における充放電回数をカウントします。
（4）このカウント数を、あらかじめ設定された計算式により温度に変換し表示します。

EMC 適合 本製品は EMC 規格 IEC 60601-1-2：2007 に適合しています。

【使用目的、効能又は効果】

本製品は、サーミスタ式の電子体温計です。体温計の感温部をわき（又は舌下）に接触させて、人の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示します。わき・口中用。

消費電力　：100 mW
感 温 部　：サーミスタ
測定方式　：実測（ピークホールド方式）
体温表示　：デジタル表示 3 桁＋℃表示、0.1℃毎
測定範囲　：32.0～42.0℃
音　　声　：圧電スピーカー
使用環境周囲温度：＋10～＋40℃　相対湿度：30～85%RH
保管環境周囲温度：−20～＋60℃　相対湿度：30～95%RH

【品目仕様等】

（1）最高温度保持機能：実測した最高温度値を保持し一定時間表示する
（2）デジタル表示　：実測した体温をデジタル表示する
（3）最大許容誤差　：±0.1℃
　　※標準室温 23℃にて、恒温水槽で実測測定した場合
（4）電源電圧　：JIS T 1140：2005 に適合
（5）応答特性・応答時間：JIS T 1140：2005 に適合
（6）防　　浸　：JIS T 1140：2005 一部防浸形に適合
（7）測温範囲　：32.0～42.0℃
（8）最小表示単位　：0.1℃
（9）測定範囲外告知：32℃未満のとき「L」を表示、42℃を超えるとき「H」を表示

【操作方法又は使用方法等】

（1）収納ケースから取り出し、電源スイッチを押し上げて電源を入れます。
（2）「測ってください」という音声のあとで、感温部をわき（又は舌下）に挿入し密着させます。10 分間測定してください。（舌下の場合は 5 分間）
（3）温度上昇がほとんどなくなるとブザーが 3 回鳴り、検温結果が音声案内されます。
（4）ブザーを目安として体温を見る場合は、わき（又は舌下）から取り出します。より正確に測るには継続して測定してください。
（5）電源を切って、収納ケースに入れます。
・詳細については取扱説明書をよくお読みください。

【使用上の注意】

（1）検温中、感温部を検温する部位に密着させるように固定し、空隙はつくらないようにしてください。また大幅に動かさないでください。
（2）電池電圧が低下すると「電池を交換してください」と音声案内されますので、電池を取り替えてください。
（3）運動や入浴後は、30 分以上あけてから検温してください。
（4）飲食後は、30 分以上あけてから検温してください。
（5）起床直後の行動開始時期は、比較的激しく体温が上昇しますので、30 分以上あけてから検温してください。
（6）わきの下が汗ばんでいるときはわきの下を乾いた布で数回ふいてから検温してください。
（7）感温部およびプローブは防浸ですが、それ以外（表示部など）は防浸ではありません。本体を水につけないでください。
（8）感温部を強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。
（9）本体を噛まないでください。
（10）乳幼児の手の届かないところに保管してください。また、お子様だけでのご使用はさけてください。
（11）周囲温度は 10～40℃の範囲で使用してください。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵方法
次のようなところに保管しないでください。
（1）水のかかるところ。
（2）高温・多湿、直射日光、ホコリ、暖房器具のそば、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
（3）傾斜、振動、重圧、衝撃（運搬時を含む）のあるところ。
（4）化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

2. 耐用期間
製造日から正規の保守点検を行った場合、5 年間とする。
[当社データによる。]

【保守・点検に係る事項】

（1）故障した場合は勝手に修理、分解せず、お客様サービスセンターにご連絡ください。
（2）勝手に改造しないでください。
（3）本製品に水や化学薬品をかけないでください。
（4）本体の汚れは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。
（5）汚れがひどいときは、水または中性洗剤をしみ込ませた布をかたく絞ってふき取った後、やわらかい布でからぶきしてください。

【包装】

1 台／箱

【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称及び住所等】

＊製造販売元：オムロンヘルスケア株式会社
〒617-0002
京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地
電話：0120-30-6606
＊＊製　造　元：オムロンヘルスケア株式会社

取扱説明書を必ずご参照下さい。